



## アフガニスタン：米軍・NATO 軍の戦闘任務が終了

2014年12月末、米軍・NATO 軍はアフガニスタンでの戦闘任務を終了した。2015年1月1日からは、アフガニスタン軍が全土の治安維持を開始した。12月28日、駐アフガニスタン国際治安支援部隊 (ISAF) は、カブールで、アフガンでの戦闘任務終結を記念する式典を開催した。米国のオバマ大統領は声明で、米国にとって史上最長の戦争は責任のある終結に近づいているとした。ヘーゲル国防長官は、1月からの作戦を「自由の番人作戦」に切り替えると声明した。

米海兵隊は、10月末に最後の戦闘部隊が南部ヘルマンド州での任務を終了していた。同じ基地に駐留していた英軍部隊も戦闘任務を終了した。11月4日には、米国陸軍の第10山岳部隊が任務を終了している。12月8日に ISAF の共同作戦司令部の終了式が行なわれ、この時点で ISAF の作戦任務は正式に終了となった。

2015年以降米軍がアフガニスタンに駐留するための安全保障協定は、11月23日にアフガニスタン下院が、27日には同上院が承認した。12月2日、NATO 外相理事会は、2014年末で戦闘任務を終了するアフガニスタン駐留軍について、2015年1月から1万2000人規模の部隊がアフガニスタン軍の訓練を中心とした後方支援に移行することを正式に決めた。2015年以降、アフガニスタンに駐留する部隊の主力は米軍（兵員1万人前後）で、その他の国は小規模の部隊を派遣する。米軍は NATO の一員としてアフガニスタン軍の訓練を行いつつ、米軍独自の「自由の番人作戦」を実施する。米軍は5カ所の基地に駐留し、2015年末には部隊規模を5500人に縮小、2016年末には大使館の警備要員などを残して完全撤収する予定である。

### 評価

米軍・NATO 軍は、予定通り2014年末で戦闘任務を終了した。同軍は、2015年以降、形式的には訓練部隊として残留するが、実質的にはアフガニスタンでの軍事・治安状況に大きな変化はなく、1万人近くの兵力を擁する米軍が戦闘に参加する場合もあるだろう。アフガニスタン政府が内政面で抱える最大の問題の一つは腐敗である。2014年9月末に就任したガニ一大統領は、アフガニスタン政府の組織面での刷新を先行させており、まだ内閣を組閣していない段階である。アフガニスタン政府が国民に信頼されない限り、米軍・NATO 軍の残留の効果は軍事面の一部に限定されたものになるだろう。

(中島主席研究員)

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL : <http://www.meij.or.jp/>